資料-4

追加調査について

第１回検討会でのご意見を踏まえ、現行の水道ビジョンのレビューを行うために必要となる追加調査を行っている。調査項目は下記の 2 点であり、調査結果については第３回検討会で報告する予定。

追加調査１　PFI の効果について

第１回検討会資料（運営基盤 2-10～2-12）で取り上げた水道事業体を対象としてアンケート調査を実施する。アンケート調査用紙を p.2～4 に示す。

また、現在、PFI を導入していない事業体についても、PFI 導入検討の有無やその問題点、導入しない理由等を把握するため、アンケート調査を実施する。アンケート調査用紙を p.5～7 に示す。

調査対象数

PFI 実施事業体　　11 事業 14 箇所 ----------アンケート調査票 p.2～4

PFI 未実施事業体　68 事業 ----------アンケート調査票 p.5～7

追加調査２　情報提供の効果を把握するための取組について

本テーマについては、「水道事業の運営状況に関する調査（H22 年度）」において調査を行っており、この中から優良事例に対してアンケート調査を実施する。アンケート調査用紙を p.8～10 に示す。

調査対象数

64 事業----------アンケート調査票 p.8～10

追加調査１　①PFI 実施事業体へのアンケート調査票

【記入要領】
回答欄は黄色または橙色のセルになりますので、質問内容を確認した上で記入のほどよろしくお願いします。

：直接セルに回答を記入してください。

：プルダウンメニューから、該当する回答を選択してください。

識別番号	1	
都道府県番号	13	
都道府県名	東京都	
台帳番号	13001	
事業者名	東京都	
事業名称	東京都水道局	
記入者氏名		
所属部署名		
電話番号		
	内線	

PFI事業の概要	
対象浄水場	金町浄水場
事業内容	電力供給及び蒸気供給
事業類型	サービス購入型
事業方式	PFI(BOO)方式
契約締結日	H11.10.18
運用期間	20年間
運用開始	H12～
入札予定価格（又は契約額）	（約253億円）

（1）PFI事業の運用に至るまで、計画準備に何年かかりましたか。

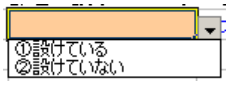
年

（2）PFI事業の専門の部署について

①PFI事業の総合的な企画・調整を担当する専門の部署を設けていますか。

①設けている
②設けていない

←プルダウンメニューから選んでください。



②専属部署を設けている場合、専属人数と兼任人数を回答していください。

専属人数　　人
兼任人数　　人

（3）PFI事業におけるVFMについて

可能性調査段階、PFI事業選定段階、民間事業者選定段階、モニタリング段階におけるPSC総額、PFIのLCC総額を記入してください。

（単位：百万円、%）

可能性調査段階			
PSC総額	PFIのLCC総額	VFM総額	VFM率
		0	#DIV/0!

特定事業選定段階			
PSC総額	PFIのLCC総額	VFM総額	VFM率
		0	#DIV/0!

民間事業者選定段階			
PSC総額	PFIのLCC総額	VFM総額	VFM率
		0	#DIV/0!

モニタリング段階			
PSC総額	PFIのLCC総額	VFM総額	VFM率
		0	#DIV/0!

※1)「PSC」とは、官が自ら事業を実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込み額のことである。

※2)「PFIのLCC(Life Cycle Cost)」とは、PFI事業として実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込み額のことである。

※3)「VFM」とは、「支払い(Money)に対して最も価値の高いサービス(Value)を供給する」という考え方のことであり、VFM額(PSCとPFIのLCCの差額)、VFM率((PSC-PFIのLCC)/PSC×100)として示されることが多い。

（4）モニタリングの実施頻度について

①現時点でのモニタリングの実施頻度はどの程度ですか。

②どんな方法でモニタリングを実施していますか。

③選定事業者の不履行等、維持管理・運営において何らかのペナルティを課す事態になったことはありますか。あれば、具体的な内容を以下に記入してください。

（5）リスクの分担について

契約書等における官民のリスク分担の状況について、項目別にリストから選択してください。

リスク項目	リスク分担
契約締結	
不可効力	
業務内容変更	
物価変動	
金利変動	
税制	
その他	

←プルダウンメニューから選んでください。

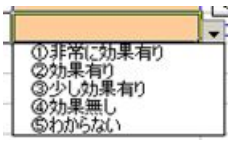
①官民
②官
③民
④設定なし

①官民　官民双方がリスク負担
②官　官がリスク負担
③民　民がリスク負担
④設定なし　当該項目がリスク分担として設定されていない

※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

（6）PFIの導入の効果はどのようなものと考えていますか。該当する項目をリストから選択してください。

項目	回答
①住民に対する安価で質の高いサービスを提供	
②財政資金の効率的利用	
③官民の適切なパートナーシップの形成	
④技術者の確保	
⑤民間の新たな事業機会の創出	
⑥その他	



←ブルダウンメニューから選んでください。

※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

（7）PFIの問題点は何だと考えますか。該当する項目に○を選択してください。

項目	回答
①準備に係る事務量が多い	
②施設整備までに時間がかかる	
③民間の破綻リスクが心配	
④VFMが思ったより高くならない	
⑤施設整備までに費用がかかる	
⑥その他	

←ブルダウンメニューから選んでください。

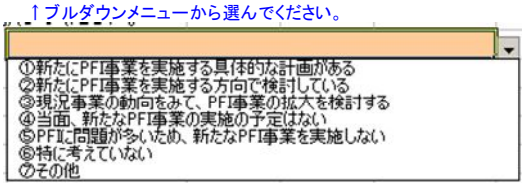
※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

（8）今後のPFI事業の計画について

①新たにPFI事業を実施する予定がありますか。該当する項目に○を選択してください。

①新たにPFI事業を実施する具体的な計画がある
②新たにPFI事業を実施する方向で検討している
③現況事業の動向をみて、PFI事業の拡大を検討する
④当面、新たなPFI事業の実施の予定はない
⑤PFIに問題が多いため、新たなPFI事業を実施しない
⑥特に考えていない
⑦その他

↑ブルダウンメニューから選んでください。



※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

②上記質問①で「①新たにPFI事業を実施する具体的な計画がある」を選択した場合、その新規事業の概要を記入してください。

項目	事業1	事業2
対象浄水場、施設		
事業内容		
事業類型		
事業方式		
契約締結日		
運用期間		
運用開始		
入札予定価格		

（9）PFI事業を行う上での現況の課題があれば、以下に具体的に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

追加調査１　②PFI 未実施事業体へのアンケート調査票

【記入要領】
回答欄は黄色または橙色のセルになりますので、質問内容を確認した上で記入のほどよろしくお願いします。

：直接セルに回答を記入してください。

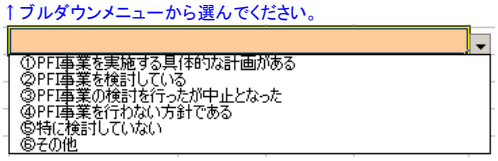
：プルダウンメニューから、該当する回答を選択してください。

識別番号	1
都道府県番号	1
都道府県名	北海道
台帳番号	1014
事業者名	札幌市
事業名称	札幌市水道事業
記入者氏名	
所属部署名	
電話番号	
内線	

（1）PFI事業の検討または今後実施する予定がありますか。該当する項目を選択してください。

①PFI事業を実施する具体的な計画がある
②PFI事業を検討している
③PFI事業の検討を行ったが中止となった　⇒問（2）
④PFI事業を行わない方針である　⇒問（3）
⑤特に検討していない　⇒問（4）
⑥その他

↑プルダウンメニューから選んでください。



※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

（2）PFI事業の検討について

※（1）で①、②、③を選択した場合のみ回答してください。

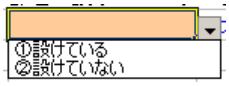
①検討対象となっている具体的な事業の詳細がわかれば、その事業の概要を記入してください。

項目	事業1	事業2
対象浄水場、施設		
事業内容		
事業類型		
事業方式		
契約締結日		
運用期間		
運用開始		
入札予定価格		

②PFI事業の総合的な企画・調整を担当する専門の部署を設けていますか。

①設けている
②設けていない

←プルダウンメニューから選んでください。



③専属部署を設けている場合、専属人数と兼任人数を回答していください。

専属人数　　人
兼任人数　　人

④検討段階におけるPSC総額、PFIのLCC総額を記入してください。

（単位：百万円、%）

検討段階			
PSC総額	PFIのLCC総額	VFM総額	VFM率
		0	#DIV/0!

※1)「PSC」とは、官が自ら事業を実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込み額のことである。

※2)「PFIのLCC(Life Cycle Cost)」とは、PFI事業として実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込み額のことである。

※3)「VFM」とは、「支払い(Money)に対して最も価値の高いサービス(Value)を供給する」という考え方のことであり、VFM額(PSCとPFIのLCCの差額)、VFM率((PSC-PFIのLCC)/PSC×100)として示されることが多い。

⑤(1)で「③PFI事業の検討を行ったが中止となった」を選択した場合、中止となった具体的な理由を以下に記入してください。

(3)PFI事業を実施しない理由

※(1)で④を選択した場合のみ回答してください。

PFI事業を実施しないのはなぜですか。具体的な理由を以下に記入してください。

(4)PFI事業を検討しない理由

※(1)で⑤を選択した場合のみ回答してください。

①PFI事業を検討しないのはなぜですか。該当する項目をリストから選択してください。

項目	回答
①PFI事業を導入するための人員を確保できない	
②PFI事業の導入の仕方がわからない	
③将来の方向性が決まっていないため、PFI導入の検討段階に至っていない	
④PFIにあてはまる具体的な事業がない	
⑤PFI以外に他の効果的な方法がある	
⑥その他	

↑プルダウンメニューから選んでください。

※⑤を選択した場合、具体的な方法を以下に記入してください。

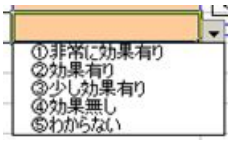
※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

（5）PFIに関する全般的な考えについてお聞きします。

※全回答者が回答してください。

①PFIの導入の効果はどのようなものと考えられますか。該当する項目をリストから選択してください。

項目	回答
①住民に対する安価で質の高いサービスを提供	
②財政資金の効率的利用	
③官民の適切なパートナーシップの形成	
④技術者の確保	
⑤民間の新たな事業機会の創出	
⑥その他	



←ブルダウンメニューから選んでください。

※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

②PFIの問題点は何だと考えられますか。該当する項目に〇を選択してください。

項目	回答
①準備に係る事務量が多い	
②施設整備までに時間がかかる	
③民間の破綻リスクが心配	
④VFMが思ったより高くならない	
⑤施設整備までに費用がかかる	
⑥その他	

←ブルダウンメニューから選んでください。

※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

③その他、PFIに関係することで課題や問題等があれば、以下に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

追加調査２　情報提供の効果を把握するための取組に関するアンケート調査票

【記入要領】
回答欄は黄色または橙色のセルになりますので、質問内容を確認した上で記入のほどよろしくお願いします。

：直接セルに回答を記入してください。

：プルダウンメニューから、該当する回答を選択してください。

識別番号	1	
都道府県番号	1	
都道府県名	北海道	
台帳番号	1014	
事業者名	札幌市	
事業名称	札幌市水道事業	
記入者氏名		
所属部署名		
電話番号		
	内線	

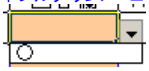
【参考】
「平成22年度水道事業の運営状況に関する調査」 回答状況
水道需要者への情報提供

項目	情報提供の有無	わかりやすく工夫
①水質検査計画	有	○
②水道法第20条第1項規定の定期水質検査結果	有	○
③水道事業の実施体制	有	○
④水道施設整備・水道事業に要する費用	有	○
⑤水道料金他、需要者の負担	有	○
⑥給水装置・貯水槽水道の管理等	有	○
⑦水道法第20条第1項規定の臨時水質検査結果	有	○
⑧災害、水質事故等の非常時における水道の危機管理	有	○
⑨水道施設の耐震性能・耐震化に関する取組	有	○
⑩断水発生時の応急給水体制などの情報	有	○

（1）需要者ニーズの把握
①需要者ニーズを把握する取り組みとして以下の取組を行っていますか。
取組を行っているもの全てについて、○を選択してください。
なお、H22調査は「平成22年度水道ビジョンレビュー調査」による回答です。

項目	回答欄	H22調査
①水道モニター制度		○
②配布、郵送等によるアンケート調査		
③電話、面談によるアンケート調査		
④インターネットによるアンケート調査		－
⑤各種イベント、討論会、浄水場見学会等を利用したアンケート調査		○
⑥パブリックコメントの実施		
⑦住民代表の審議会、検討会等への参加		
⑧出前講座の実施		－
⑨その他		

↑プルダウンメニューから選んでください。



②上記の質問①で、「⑨その他」を選択した場合、そのニーズ把握の取組の概要を記入してください。

（2）情報提供の効果の把握方法

①情報提供の効果を把握するために具体的な取組として、どのような取組を行っていますか。

項目	回答欄
①水道モニター制度の活用	
②満足度調査等のアンケート調査の実施	
③各種イベント、討論会、浄水場見学会等を利用したヒアリング調査	
④アンケートボックスの設置	
⑤その他	
⑥特に行っていない	

②質問①で、「⑤その他」を選択した場合、そのニーズ把握の取組の概要を記入してください。

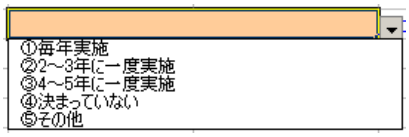
③質問①で、「①水道モニター制度の活用」を選択した場合、具体的な情報提供の効果の把握方法を以下に記入してください。

④質問①で、「②満足度調査等のアンケート調査の実施」を選択した場合のみ、以下の質問に回答してください。

ア）満足度調査の実施頻度はどの程度ですか。

①毎年実施
②2～3年に一度実施
③4～5年に一度実施
④決まっていない
⑤その他

←プルダウンメニューから選んでください。



※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

イ）どのような調査方法ですか。該当するものに○を選択してください。

項目	回答欄
①配布、郵送等によるアンケート調査	
②電話、面談によるアンケート調査	
③インターネットによるアンケート調査	
④各種イベント、討論会、浄水場見学会等を利用したアンケート調査	
⑤その他	

↑プルダウンメニューから選んでください。

※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

ウ）どのような調査内容ですか。該当する調査項目に○を選択してください。

項目	回答欄
①水道水の安全性に対する満足度	
②水道水のおいしさに対する満足度	
③水圧に対する満足度	
④水道料金に対する満足度	
⑤水道水の満足度（総合評価）	
⑥お客様サービスに対する満足度	
⑦水道事業全般の満足度	
⑧水道事業（事業計画等）の認知度	
⑨広報の認知度	
⑩各種イベント等の認知度	
⑪その他	

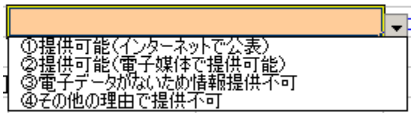
↑プルダウンメニューから選んでください。

※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

エ）調査内容及び結果の電子データによる提供の可否について該当するものを選択してください。
調査内容及び結果を提供可能な場合は、この調査の回答時にあわせて送付していただくようお願いします。

①提供可能（インターネットで公表）
②提供可能（電子媒体で提供可能）
③電子データがないため情報提供不可
④その他の理由で提供不可

←プルダウンメニューから選んでください。



※①の場合、公表しているウェブサイトのアドレスを記入してください。

⑤質問①で、「①～⑤」を選択した場合のみ、以下の質問に回答してください。
調査結果を具体的にどのように活用していますか。具体的な活用方法を以下に記入してください。

項目	回答欄
①事業計画への反映	
②お客様サービスの改善	
③広報活動の改善	
④職員の意識啓発	
⑤その他	

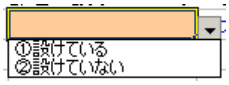
↑プルダウンメニューから選んでください。

※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

（3）お客様サービス推進に向けた組織体制について
①お客様サービスを担当する専門の部署を設けていますか。

①設けている
②設けていない

←プルダウンメニューから選んでください。



②専属部署を設けている場合、専属人数と兼任人数を回答していください。

専属人数　　人
兼任人数　　人

（4）情報提供の効果を把握するために実施している取組があれば、その具体的な内容を以下に記入してください。

（5）より効果的な情報提供を実施するためには、何が必要ですか。該当する項目に○を記入してください。

項目	回答欄
①情報提供にかかわる職員の確保	
②情報提供のための資金の確保	
③情報提供の効果を把握するための具体的な方法、事例等の知見	
④水道事業者間の情報ネットワーク	
⑤その他	

↑プルダウンメニューから選んでください。

※その他の場合は、具体的な内容を以下に記入してください。

（6）その他、情報提供に関係することで課題や問題等があれば、以下に記入してください。

ご協力ありがとうございました。